



夢トピア星置の定時総会を開催

夢トピア星置町内会連合会の定時総会が5月26日（日）コスモプラザで開催されました。

新型コロナウイルスの感染拡大により令和2年度以降、書面による開催が続いていましたが、5年ぶりに通常の方式での開催となりました。

総会には役員を含め69人が出席し、委任状を含めて会員の80%の1867人の出席となりました。

総会では令和5年度事業の報告と決算、令和6年度のパートナーシップ排雪の実施、フェスティバル納涼盆踊りの開催などの事業計画と総額1,331万円余の一般会計予算案などが審議されました。

また、総会の開催方法が時代とともに変化し、総会への出席に替えて書面や電子メールなどでの投票も可能とする法改正が行われたことに対応して、どういう場合に、どういう方法で投票できるかなどについて、町連の「きまり」に規定する議案も提出されました。

これらに加え、一部役員の異動、追加も含めて8件の議案が審議され、いずれも賛成多数で可決されました。

今回の議案や改正後の「きまり」は、夢トピア星置のホームページにもpdfファイルで掲載されています。

＜夢トピア星置のホームページ <https://yume49863.wixsite.com/my-site> ＞

がん検診のいろいろ

がんの早期発見のために行うがん検診。色々な種類があります。

実施者は、①保健センター、②対がん協会、③医療機関などです。

検診項目も札幌市がん検診としてお得に受けられる項目とその他の項目など色々です。

上記の①のうち星置地区センターで実施する検診、②のうち東区にある対がん協会の検診センターで行う検診の2つは、例年夢トピア地域の町内会回覧で検診希望者を募って実施しています。

各検診の申込から受診までの流れは以下の通りです。

A＜①の保健センターが行う検診のうち、星置地区センターで実施する検診＞

---胃がん（バリウム）・大腸がん（検便）・肺がん---

保健センターからのお知らせと検診申込書を各町内会で回覧（6月頃）⇒検診希望者が申込書に記載⇒町内会は検診申込書を取りまとめて町連に提出するとともに、問診票や検査用品等を検診申込者に配布⇒町連では全町内会を集計し保健センターに送付⇒検診申込者は検診当日星置地区センターで受診（7月頃）

B＜②の対がん協会が行う検診のうち、東区にある検診センターで実施する検診＞

---胃がん（バリウム・カメラ）・大腸がん（検便）・肺がん・乳がん・子宮がん等---

対がん協会からのお知らせと検診申込書を各町内会で回覧（8月頃）⇒検診希望者が申込書に記載⇒町内会が検診申込書を町連に提出⇒町連は全町内会の申込書を取りまとめて対がん協会に送付⇒対がん協会は問診票、検査キット等を検診申込者に送付⇒検診申込者は当日対がん協会の送迎バスで検診センター（東区）に行き受診（10月頃）

C＜①～③の各検診機関や医療機関に直接申し込んで受ける検診＞

---（検査項目は各機関により異なる）---

札幌市のパンフレット、ホームページ等を見て、検診を受けたい検診機関等に電話等で申し込んで検診を受けます。

A,B,Cとも、とくとかん検診などの健康診断と合せて受診できる会場もあります。日程や会場などご自分の都合に合わせて選択するのも良いでしょう。





特集・・・星置の今と昔 (地球・木星町内会編)

先月号に続き、皆さんが暮らしている星置の地域、お宅はその昔、どんな土地だったのか、国土地理院の衛星写真を使ってご紹介していきます。

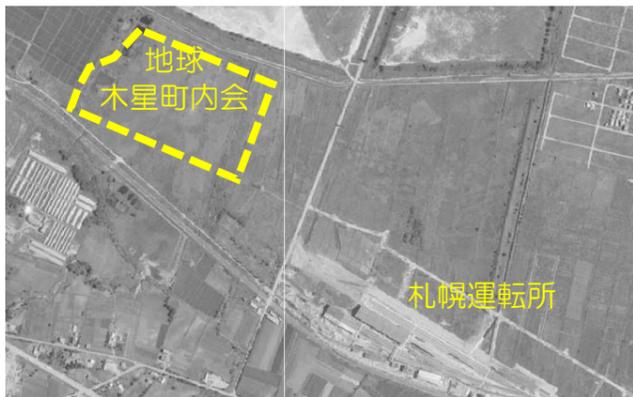
今月は、夢トピア星置町内会連合会の中で唯一、手稲区曙地区にあり、JR 研修センターがある地球、木星町内会周辺を見ていきましょう。

1960年代、辺り一帯は原野となっています。この頃、函館本線小樽―札幌間が1880年に開通しており、星置地区のお隣、現在の稲穂駅付近にある札幌運転所が1965年に開設されているため、建設中の構内の様子が衛星写真で見ることができます。

1970年代を見ると、札幌運転所は既に現在の姿になっていますが、1980年代中頃、地球、木星町内会周辺は、まだ原野のまま住宅は一軒も建っていないことがわかります。

ここから少し時代が進みますが、2008年には既に住宅地が形成されており、曙木星公園も開設されている様子が見えます。また、この後、2015年からJR研修センターの建設が始まり、2017年2月に完成し、現在の街並みとなります。

1960年代



1970年代



1980年代



2008年



★次月号は、星置東小学校、星置公園に近接するオリオン、すばる、カシオペア、シリウス町内会エリアを紹介します。

札幌初のコミュニティ・スクールが星置でスタート

5月15日星置で札幌初の「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」がスタート。

コミュニティ・スクール(CS)とは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」を目指す仕組み(文科省HP)。

星置では、星中、東小、北小の3校を「星置地区パートナー校区」として地域(町内会)、保護者、学校が学校運営のあり方をともに考える協議会を設置しました。

初回は、協議会会長に地域学校協働運営協議会代表の川又苗穂美氏を選任した後、各校が目指す学校運営の方針をそれぞれの校長先生が資料やパワーポイントを使って説明しました。



コスモプラザの消防設備点検を実施

コスモプラザは不特定多数が集まる集会施設として一般の住宅やビルより厳しい防火安全基準が掛けられています。

毎日子供からお年寄りまで利用する会館では防火・避難設備は利用者の命に関わる特に重要な設備。町連では、専門業者に委託して定期的な点検を行っています。

5月15日には火災報知設備、非常放送設備、避難設備などの点検を行い、その機能を確認しました。

いずれも素人には触ることも難しい設備です。町連の委託を受けた会社の資格を持った社員が慎重に点検をしました。



近年ボランティアに頼る組織は担い手不足が深刻化していますが、町連でもコスモプラザの管理を所管する管財部長がいないなど、担い手不足が深刻化しています。

利用者の安全のため消防設備を含め施設設備全般を専門会社に委託することも視野に入れて検討しなければならないかもしれません。